

桜島学校の教育（基本的な考え方）

暫定版（2025. 9. 30）

【関係法令等】

- ・日本国憲法及び関係法令、学習指導要領
関係教育施策等

【鹿児島県教育振興基本計画】

- ・「夢や希望を実現し
ともに未来を創る鹿児島の人づくり」

【鹿児島市教育振興基本計画】

- (か) 鹿児島市に誇りを持ち、
- (ご) これからの時代に必要な生きる力を養い、
- (し) 心身ともにたくましく、
- (ま) 学び続ける人材を社会全体で育成します。

教育理念

（桜島学校において育成したい理想とする児童生徒の姿）

桜島のように豊かでたくましい人づくり

◎ 桜島のように…

- | | |
|------------|---------------|
| ※ 唯一無二の存在感 | ※ 人々を魅了する荘厳な姿 |
| ※ 雄大さと美しさ | ※ 安定感のあるたくましさ |

桜島学校の教育（基本的な考え方）

学びのコンセプト

（桜島学校における児童生徒の学びの基本となる考え方）

「桜島をまるごと学び舎に」して学ぶ

桜島地域の5つの小学校と3つの中学校が統合され、新たに「桜島学校」が誕生します。これまで各校や各地域で培われてきた価値ある教育や地域の思いを尊重し、継承するとともに、新しい時代にふさわしい教育を「桜島をまるごと学び舎に」のコンセプトの下、5つの柱で創造していきます。

- ① 桜島学校を学びのプラットフォームとして学ぶ
- ② 桜島の「ひと、もの、こと」から学ぶ
- ③ たゆまぬ挑戦（失敗）から学ぶ
- ④ 命の尊さを学ぶ
- ⑤ 桜島学校での「学び」を生かして学び続ける

桜島学校における、学びのコンセプト（「桜島をまるごと学び舎に」して学ぶ）とは

① 桜島学校を学びのプラットフォームとして学ぶ

桜島全域を学びのフィールドとして、桜島学校を学びのプラットフォームとして捉え、活火山の麓にある火山防災のトップシティの学校として、国内外に学びを発信し、交流を深めるために、外国語やICT活用、コミュニケーションスキルの習得が図られるよう努めます。

また、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）を基盤とした義務教育学校として、学校・家庭・地域がそれぞれ当事者意識をもち、共に手を携えて教育にあたるシステムを構築しながら、地域の活性化に貢献できるよう、桜島学校を核としたスクール・コミュニティ（学校を核とした地域づくり）の実現に努めます。

桜島学校における、学びのコンセプト（「桜島をまるごと学び舎に」して学ぶ）とは

② 桜島の「ひと、もの、こと」から学ぶ

桜島で共に過ごす「ひと」と共に学び、鹿児島県内外、さらには海外の多様な「ひと」から学びます。桜島（火山）や海（錦江湾）、農産物や水産物等、身近にある本物、桜島の「もの」から学びます。桜島を取り巻く自然の恵みや厳しさ、先人が歩んできた歴史、桜島に根付いた伝統や文化など、様々な「こと」から学べるよう努めます。

さらに、桜島にとどまらず、県内外の各種学校や教育機関、企業・団体等、外部の多様なリソースを活用し、社会に開かれた教育課程の実現に努めます。

③ たゆまぬ挑戦から学ぶ

雄大で荘厳な桜島で学ぶ中、たゆまぬ挑戦から生じる失敗を恐れず、受け入れ、繰り返しながら、挑戦する勇気や態度、そして挑戦することをあきらめない粘り強さを身に付けさせます。さらに、失敗から学び得た知識や技能を生かして、自ら課題を設定し課題解決に主体的に取り組む態度を身に付けさせるよう努めます。

また、他者の挑戦や失敗を見守り、寄り添い、そこから学び合うことで、互いに高め合いながら、個人や集団で達成感や成就感を味わい、自己肯定感の醸成に努めます。

桜島学校における、学びのコンセプト（「桜島をまるごと学び舎に」して学ぶ）とは

④ 命の尊さを学ぶ

桜島特有の自然環境の中で共生している人々の姿から、それぞれの見方・考え方を尊重し、個々の価値観や生き方の尊厳に触れることで、思いやりや互いを尊重する心、自他の生命を大切にする態度など、人権感覚を身に付けさせます。

また、桜島特有の自然環境から学ぶとともに、自然の恵みに畏敬の念を持ちながら、桜島で生活していることに誇りを持ち、様々な自然災害や危機事象から自己や他者の命を守る態度や能力を養うよう努めます。

⑤ 桜島学校での「学び」を生かして学び続ける

鹿児島市初の義務教育学校である桜島学校で、9年間を一貫させた学びの「連続性」「多様性」を生かした特色ある教育カリキュラムの基、児童生徒は様々な「学び」を通して、資質・能力を身に付けます。そして、それらを基盤として創造力を発揮し、9年間という長いスパンの中で、児童生徒それぞれの学びをデザインしていきます。

桜島学校での学びを基に、生涯に渡って自分自身の人生を楽しみながら、自分を大切にし、人の役に立ち、私たちを取り巻く世界をより良くするために、現状や課題を様々な観点から検証・分析し、よりよい方法や手段を模索します。学校（児童生徒・職員）、家庭・地域、そして社会のウェルビーイングの向上に努めます。

学校教育目標

ワクワク、イキイキ、ノビノビ学んで、みんなのニコニコがいっぱいの学校

ワクワク

課題の発見・設定、新たな体験、新たな発見
分かる→よりよく分かる、できる→よりよくできる

イキイキ

他者と関わりながら、協働的に、信頼感と安心感
夢中に、自信をもって、楽しみながら、

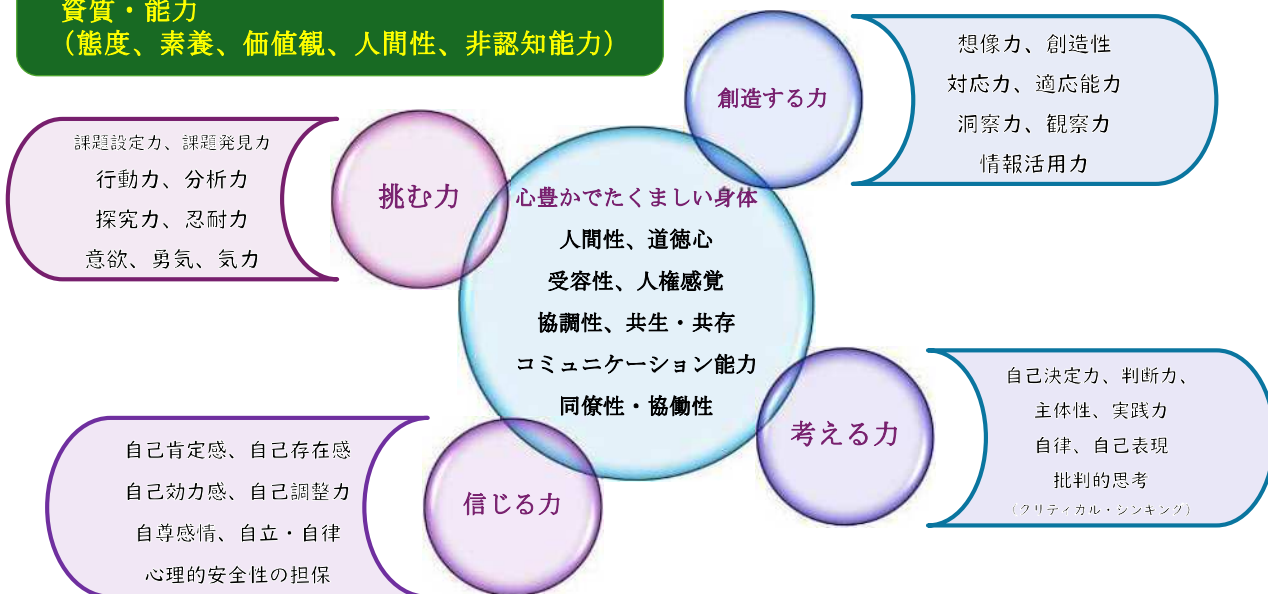
ノビノビ

自由に、柔軟に、自分のペースで、あきらめず、
前向きに、強いられることなく、試行錯誤しながら、

ニコニコ

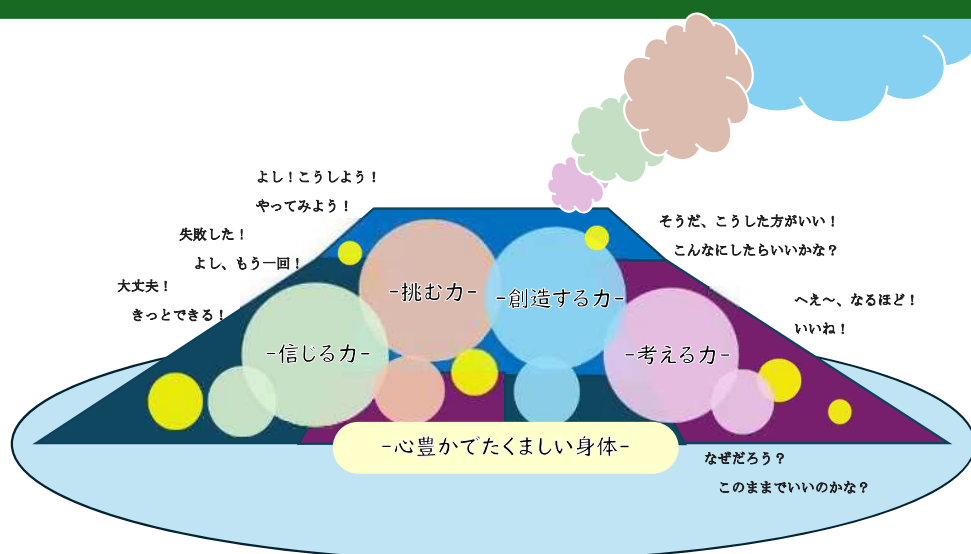
信用・信頼、共存・共生、自己肯定感、自己存在感
自己実現、心理的安全性の担保、ウェルビーイング

児童生徒に習得・活用・発揮させたい
資質・能力
(態度、素養、価値観、人間性、非認知能力)



学校教育目標

ワクワク、イキイキ、ノビノビ学んで、みんなのニコニコがいっぱいの学校



資質・能力、態度、非認知能力 「心豊かでたくましい身体」

人間性、道徳心、受容性、人権感覚、協調性、共生・共存、コミュニケーション能力、同僚性、協働性 等

「心豊かでたくましい身体」とは、児童生徒が様々な学びを通して資質・能力を身に付けたり、発揮したりするための、全ての基盤となるものです。これは、相手を尊重し、他者の意見や考え方を傾聴する姿勢、そして進んで関わろうとする態度にも繋がります。また、ウェルビーイングを実現する上でも重要な素養となります。

◆なぜ、「心豊かでたくましい身体」なのか？

「心の豊かさ」や「たくましい体」は、いつの時代においても児童生徒が備えるべき、変わることのない本質的な資質・能力であると考えます。特に自他の学びや成長を促すためには、児童生徒一人一人が、同僚性や協働性を発揮し、全体として受容的な雰囲気の中で、他者の意見や考えを傾聴し、自分の考えを安心して表現できる「心理的安全性」が確保されることが重要です。

今後、DX化やグローバル化が益々進展し、人々の価値観や行動様式が更に多様化していく社会においては、世代や国籍を超えて、異なる個性を持つ人々が、共に生活し、互いに学び合う機会が増えていきます。そのような環境の中で、他者の多様な見方や考えを受け入れ、尊重できる「心の豊かさ」は、これからの時代を生きる上で欠かせない素養となります。

また、「たくましい体」とは、単に病気やけががなく健康であるという意味にとどまりません。障害や病気があっても、懸命に学び、強い意志をもって他者と関わろうとする姿勢こそが「たくましさ」の本質であると考えます。桜島学校が目指すウェルビーイングの実現に向けては、「心の豊かさ」と「たくましい体」の両方が、特色ある教育活動を支える重要な基盤となります。これらの資質能力を育むことは、児童生徒が多様な社会の中で自分らしく、そして他者と共に生きる力を身に付けるために、欠かせないものです。

資質・能力、態度、非認知能力 「信じる力」

自己肯定感、自己存在感、自己効力感、自尊感情、自立・自律、心理的安全性の担保 等

「信じる力」とは、周囲の評価に左右されることなく、自分自身の長所も短所も含め、「ありのままの自分」を受け入れる力です。さらに、他者の存在や多様性、多様な価値観を受け入れ、共生する中で育まれる「自己肯定感」や「自己存在感」、「自立・自律」へとつながる力でもあります。

◆なぜ、「信じる力」なのか？

国際比較の意識調査や全国学力・学習状況調査の結果から、国・県・市では、自己肯定感の低さが課題となっています。桜島地域においても、子供の自己肯定感の低さや自信の欠如を課題と捉えている学校が見られます。

自己肯定感の定義には様々なものがありますが、生徒指導提要（令和4年12月、文部科学省）においては、生徒指導の実践的視点として、「自己存在感の感受」が示され、「学校生活のあらゆる場面で、『自分も一人の人間として大切にされている』という自己存在感を、児童生徒が実感することが大切」と述べられています。変化の激しい時代だからこそ、結果や他者との比較、他者からの評価といった外的な要因ではなく、「ありのままの自分でいい」と自分自身を信じる内面的な力こそが、今の時代において特に大切だと考えます。

また、「自己存在感を感受」するためには、集団の中での「心理的安全性の担保」が重要であり、そこには、他者に対する信頼感、他者を信じることも重要になると考えます。

資質・能力、態度、非認知能力 「考える力」

自己決定力、判断力、主体性、実践力、自律、自己表現、批判的思考力（クリティカル・シンキング） 等

「考える力」とは、自分の道を切り拓くために、自ら試行錯誤を重ねながら、選択・判断・実行していく力です。これは、自分の責任で考え「決める力」でもあります。また、自分が持っている知識を世の中の情報や事象と関連付けながら深く考察する「考え抜く力」へとつながる力でもあります。

◆なぜ、「考える力」なのか？

教育現場では、児童生徒が様々な問題や課題に対して「考え」、「答え」を導き出すことは、当然のこととされています。しかし、疑問を抱きながら真実を見極め、答えを導き出すためには、様々な問題や課題と真摯に向き合い、自分の意志で意図をもって「考える」こと、すなわち熟考することが重要です。「令和の日本型学校教育」では、児童生徒が自ら計画を立て、自分なりの方法で学習を進める力が求められています。また、生徒指導提要においても「自己決定の場の提供」が示されており、児童生徒が自分で考え、判断し、選択する力の育成が重視されています。

桜島地域の先生方を対象にしたWSでも、「自分で考え、判断する」「自己決定・判断・選択」「自律」など、自己決定に関連する言葉が多数挙げられました。これらの言葉からも、現場の先生方が、「自分で決める力」の重要性を強く意識していることが伺えます。さらに、ある桜島の小学生が「自分で考え、自分で決められるから楽しそう（な学校）」とつぶやいた言葉は、非常に印象的です。「子供の『したい』の先に楽しさがある」この言葉は、教育の本質を捉えているように思います。大人の『すべき』ではなく、子供の『したい』を大切にすることで、児童生徒に「考える力」を育んでいきたいと考えます。

資質・能力、態度、非認知能力 「挑む力」

課題設定力、課題発見力、行動力、分析力、探究力、忍耐力、意欲、勇気、気力 等

「挑む力」とは、学び続ける原動力となる力であり、自分なりの課題を発見したり、（自分が挑戦してみたい）課題を適切に設定したりする力も含みます。また、挑戦することによって得られた失敗から学ぶことで、よりよい学びや深い学びにつながったり、新たな課題に挑もうとする態度につながったりする力でもあります。

◆なぜ、「挑む力」なのか？

学校現場だけでなく社会全体において、「失敗は成功のもと」と言われるように、失敗が学びにつながるという考え方は一般的です。しかし実際には、失敗をさせない教育や取組が中心となり、失敗を避け、恐れる子供や大人が増えているように感じます。もちろん失敗することが目的ではありません。しかし、たゆまない挑戦から生まれる失敗は、その人の成長に大きなきっかけになります。さらに、新たな問題や課題に対して、試行錯誤を重ねながら挑戦し続けることで、資質・能力が高まり、「生きる力」へとつながっていきます。

人工知能（AI）の台頭により、社会が大きく変化していきます。AIは課題に対する答えを容易に導き出すことができますが、課題そのものを適切に設定することは難しいとされています。また、答えを得ることが目的ではなく、深い学びを実現するためには、挑戦する勇気と、試行錯誤を重ねる姿勢が不可欠です。失敗を経験し、そこから学び成長することこそが、人間の強みであり、先行き不透明な現代社会においても、困難に立ち向かう力になると考えます。

資質・能力、態度、非認知能力 「創造する力」

想像力、創造性、対応力、適応能力、洞察力、観察力、情報活用力 等

「創造する力」とは、桜島学校での様々な学びを基に、これから起こりうる出来事をイメージしたり、想像・予測したりする力のことです。さらに、新たな意味や価値を見出す力や、そのために必要な情報を収集・整理・分析する力、そして、他者の気持ちや思いを汲み取る力も含まれます。

◆なぜ、「創造する力」なのか？

学習指導要領では、「創造性」の涵養を目指した教育の充実が明示されており、「0から1を生み出す力」や「アイデアやクリエイティビティを持つ人物」が、社会から求められるようになっていきます。創造は、想像とも密接に関係しており、想像する力は、物事の理解を深めるだけでなく、人の気持ちを思いやる力にもつながると考えます。

桜島は豊かな自然の恵みをもたらしてくれる一方で、噴火に伴う大規模な自然災害のリスクも抱えています。大規模噴火には、何らかの前兆もあるといわれています。そうした環境の中で、これまでに身に付けた力を生かしながら、主体的に考え、判断し、行動し、互いに助け合いことが、自他の命を守ることにつながります。そのためにも、先を予測し、想像する力を育むことが重要です。

桜島学校での学びは、桜島の「ひと、もの、こと」から得られる本物の体験を通して深められていきます。こうした多様な体験や、そこで身に付けたスキルを生かすことで、バーチャルではなくリアルな感覚をもって創造力を発揮できる資質・能力を育むことが重要です。